

産婦人科初期臨床研修プログラム（必修科）

研修責任者 宇津 裕章

研修期間 必修期間（4週）、2年次選択期間（4週～）

I. 対象となる疾患・病態

正常妊娠・分娩、異常妊娠（子宮外妊娠、切迫流早産、多胎妊娠、妊娠高血圧症、常位胎盤早期剥離、前置胎盤）
早発卵巣不全、不妊症（一般、高度 IVF/ICSI）、婦人科良性疾患（子宮筋腫・卵巣腫瘍）、悪性疾患（子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌）

II. 研修到達目標

・一般目標(GIO ;General Instruction Objective) ①

- 1) 生命倫理の多くの問題を包括する産婦人科学を正しく認識し、それを応用・実践していく態度を身につける。
- 2) チーム医療の重要性を認識し、それを展開させる能力を養う。

・行動目標 (SBOs ;Structural Behavior Objectives) ①

- 1) 産婦人科疾患における面接/診察技法を修得する。
- 2) 診断から生じた産婦人科手術を修得する。

III. 方略(研修場所：外来、病棟、手術室、リプロダクションセンター)

- ・産科、婦人科、生殖外来の担当医の診察に陪席する。
- ・産婦人科手術の第2助手として、手術介助を行う。
- ・産科分娩介助につく。
- ・産婦人科疾患の入院症例についてレポートを作成する。

IV. 評価

指導医、担当医との討論、症例検討会での症例提示を中心に評価を行う。

V. 研修医への提言

配偶子操作から生命誕生、終末医療までの一連の医療に携わる領域のため倫理的側面を配慮し、患者の立場を最大限尊重できる医師に成長されることを期待します。